

森下さち子ニュース

【2011年11月号】

和歌山市鳴神1145の6 TEL (474) 6556

市議員団ホームページ <http://jcpwkym.sakura.ne.jp/>

11月



増加する鳥獣被害…被害対策の先頭に立ちがんばります！

深刻な鳥獣被害

6月議会でも取り上げましたが、鳥獣被害、とりわけイノシシによる被害がどんどん増加しており、名草山を中心に安原や岡崎地区へも広がっています。

広原、冬野などでは農作物への被害が深刻で、耕作意欲が減退するところまで来ており、早急な対策が求められています。

県も今年度は3億円の鳥獣被害対策費を組み、全県的に対策を講じる姿

勢を明らかにしています。しかし、問題は行政の対策が地域の切実な声に見合うものになっているかどうかということです。

鳥獣被害対策懇談会

広原公民館にて

10月28日、広原の有志の方の呼びかけにより、公民館で鳥獣被害対策懇談会が開かれました。県、市の担当者も同席し、それぞれの行政の取り組みについての説明がありました。

その後の意見交換では、市の対策について改善を求める声が集まりました。イノシシやアライグマの被害を防止する防護柵（電気柵）と個体数を減らす捕獲を同時進行させることで被害を減らすわけですが、防護柵についての補助金の不十分さと捕獲する際に必要な「括りワナ」を仕掛けるための許可が、必要に応じて出されていないことが問題です。

住民から捕獲しやすいように「括りワナ」の許可を柔軟にしてほしいという要望が出され、市は「安全が担保されれば必要に応じて許可を出す」と答えました。

また、捕獲には猟友会の方が携わっていますが、ワナの材料費、現地までのガソリン代等々を考えればほとんどはボランティアのようなもので、捕獲1頭あたり6000円の報償金では割に合わないと言います。報償金の金額を上げるか、せめてワナの仕掛けに必要な材料費の支給などを市が援助するべきです。

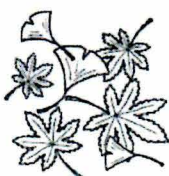


鳥獣対策についてのスライド説明も

立冬が過ぎ、季節は冬へと向かっています。天気の良い日は、昼間まだ暖かいものの朝夕の冷えが本格的になってきました。12月議会も間近です。

この秋は民主団体の対市交渉に同席する機会があり、団体毎の具体的な要求内容を把握することができました。また、市議団としても各団体との懇談をお聞きし、市長、当局との懇談などを通じて、来年度の予算要求に取り組んできたところと

12月議会を通して、市民生活の切実さを伝え、改善、前進させるために奮闘したいと考えています。



懇談会で行政と地域とが問題点を共有したことで、改めて獣害対策への具体的な課題が見えてきました。今後も引き続き地域のみなさんの農業振興、安全対策に取り組んでいきます。

12月議会 傍聴にお越しください

人事院勧告の関連で12月議会は11月28日からの予定です。

秋から来年度の予算編成作業が行われています。予算編成には市民団体のみならずと懇談し、生活に密着した要求を反映させるよう求めてきましたが、さらに前進させるよう議論を進めたいと考えています。

5人で力を合わせて議会に臨みます。ぜひ、傍聴にお越しください。

日本共産党東ブロック後援会バスツアー 11月23日(祝)

「湖東三山と永源寺」ご一緒に行きませんか。

参加費：大人(中学生以上)5000円
小学生 3000円
就学前 無料



申し込み：バスツアー実行委員会

西岡 090-9056-4865 柳本 090-9876-2050
金田 090-5673-5216 菅原 090-8448-7489

前県会議員
こんにちは！ 藤井健太郎です

野田首相が11月12～13日にハワイで開かれた「アジア太平洋経済協力会議(APEC)首脳会議」で、日本が「環太平洋連携協定(TPP)」の交渉参加に向けて関係国との協議に入ると表明しました。ただちに日本の財界やアメリカのオバマ大統領がこれに歓迎の意向を示したと伝えられています。

TPPへの参加は「日本の形(産業や暮らし)」を変える大問題です。そのことをどれだけの国民の皆さんが実感しているのでしょうか。



私は、14日の夕方、JR和歌山駅でマイクを持ち、TPP交渉参加の協議をすすめることに反対する立場から訴えました。TPPは参加国間の貿易関税を例外なく100%廃止し、金融・投資も含め物やサービスの参加国間の移動の完全自由化をめざす内容のものであり、大きな資金力・経済力を持つ日・米の大企業に自由で新たな市場を提供するものです。日本国内で国民が営々と築き上げてきた食品や医療など日本独自の国民のための安全のルールや農林水産業はじめ地域の中小企業の振興策などが廃止に追い込まれるでしょう。

今からでも遅くはありません。TPP問題についての学習会をいろんな機会をとらえてもっていただけると願っています。どうぞ、よろしく願います。



(ふじい けんたろう)

TPP(環太平洋連携協定)への参加は断念せよ

昨年12月議会において、農協から出された請願「TPP交渉参加反対の意見書を提出されたい」を多数で採択し、和歌山市議会として意見書を国へ提出しました。

1年が経過しましたが、これまでの国会論戦などからTPPへの参加は農業にとどまらない甚大な影響が明らかになってきました。食糧の安定供給が破壊される、食の安全、医療、政府調達など、国民生活のあらゆる分野でアメリカの要求がゴリ押しされる、日本の経済自体がアメリカに取り込まれ縮小するなどです。野田首相は「空洞化を食い止めるため」あるいは「国益を踏まえて交渉する」などと言っていますが、TPP参加9カ国の国内総生産(GDP)をみると、日本とアメリカだけで全体の91%を占めます。事実上日本とアメリカの自由貿易協定になるとの見方もあります。いったん参加を決めればアメリカから対日要求を次々と受け入れざるを得なくなることも懸念されます。

さらに国民の多くがTPPそのものの内容について、生活に直接影響があることをほとんど知らされていません。さらに議論を尽くし国民の声を聞くという姿勢が何よりも求められるのではないのでしょうか。



TPP問題で懇談する
JA和歌山と市議団(11/2)

FM和歌山の収録
来週、FM和歌山より「市議会通信」の収録をとの依頼がありました。今回で3度目です。収録は増屋のスタジオへ出て、パーソナリティの方とともに途中リクエスト曲を挟みながら進みます。これまでは議員活動そのものを伝えるというのではなく、プライベートなことを中心に議員の曰くろとは違う一面を知ろうというコンセプトだとお聞きしました。1回目はひたすら趣味の話をしていただけという感じがします。2回目となった今回は、1人でなく友人や知人など同伴者とともに収録を、ということでも私の趣味に關わる友人とともに収録に臨みました。そのときにも趣味

今回はあまり(?)知られていない私の活動の一部を紹介しています。ブログからそのまま引用しています。
* * * * *



さち子の雑感



の話に花が咲き、楽しいひと時でした。

今回はいっせいで地方選挙が行われた年でもあり、議員活動にも触れながら進めたいというお話でした。ひとりでも同伴者ありでも良いということですので、ぜひ一緒にと考えている方とともに向こうと思っております。

放送の後、内容を
入れたCDを
いただけるので
すが、自分のしゃべったものを自分で聞くというのはどうも居心地が悪く、恥ずかしくてたまらないので、聞き始めるとなぜか変な汗をかきます(笑)



(10月27日付けブログより)

* * * * *
残念ながら放送はすでに終了しましたが、4度目があれば早めにお知らせしたいと思っております。

生活相談

事前のお電話をお待ちしています。

市役所控え室
TEL 435・1113
鈴木 隆日

午後1時～4時
花山の森下事務所
TEL 475・8122